

野村エマージング・ソブリン 円投資型1110

運用報告書(全体版)

第35期（決算日2020年7月27日） 第36期（決算日2020年10月26日）

作成対象期間（2020年4月25日～2020年10月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	2011年10月26日から2022年10月24日までです。	
運用方針	野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行うため、原則として行いません。	
主な投資対象	野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	株式への直接投資は行いません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			騰落率	中額騰落率	受利益者	債組入比率	債券先物比率	元残存本率
		税金	分配	み金						
(設定日) 2011年10月26日	円 10,000			円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1期(2012年1月24日)	9,977			75	52	0.5	2.1	96.0	—	99.5
2期(2012年4月24日)	10,289			75	387	3.9	8.8	97.4	—	87.5
3期(2012年7月24日)	10,572			75	358	3.5	10.7	96.3	—	74.2
4期(2012年10月24日)	10,776			75	279	2.6	10.8	99.0	—	66.2
5期(2013年1月24日)	10,749			75	48	0.4	9.0	98.9	—	53.4
6期(2013年4月24日)	10,688			75	14	0.1	7.6	103.1	—	45.4
7期(2013年7月24日)	10,063			60	△565	△5.3	3.3	96.4	—	40.9
8期(2013年10月24日)	10,065			60	62	0.6	3.2	96.9	—	38.3
9期(2014年1月24日)	9,791			60	△214	△2.1	1.9	96.7	—	36.3
10期(2014年4月24日)	9,973			60	242	2.5	2.7	96.9	—	33.9
11期(2014年7月24日)	10,157			60	244	2.4	3.3	97.3	—	32.2
12期(2014年10月24日)	10,151			60	54	0.5	3.2	96.5	—	31.0
13期(2015年1月26日)	10,207			60	116	1.1	3.3	96.0	—	27.3
14期(2015年4月24日)	10,236			60	89	0.9	3.3	96.9	—	24.8
15期(2015年7月24日)	9,992			60	△184	△1.8	2.6	98.5	—	23.7
16期(2015年10月26日)	9,973			60	41	0.4	2.6	98.3	—	22.3
17期(2016年1月25日)	9,644			60	△269	△2.7	1.8	97.4	—	20.4
18期(2016年4月25日)	10,083			60	499	5.2	2.8	99.4	—	19.2
19期(2016年7月25日)	10,301			60	278	2.8	3.2	100.3	—	18.0
20期(2016年10月24日)	10,254			60	13	0.1	3.1	98.5	—	17.1
21期(2017年1月24日)	9,866			60	△328	△3.2	2.3	96.5	—	15.9
22期(2017年4月24日)	10,005			60	199	2.0	2.6	96.8	—	15.3
23期(2017年7月24日)	10,079			60	134	1.3	2.7	96.0	—	14.8
24期(2017年10月24日)	10,065			60	46	0.5	2.7	98.7	—	14.5
25期(2018年1月24日)	9,918			60	△87	△0.9	2.4	95.3	—	13.7
26期(2018年4月24日)	9,624			60	△234	△2.4	2.0	98.6	—	13.5
27期(2018年7月24日)	9,464			60	△100	△1.0	1.7	96.4	—	13.1
28期(2018年10月24日)	9,125			60	△279	△2.9	1.3	98.5	—	12.7
29期(2019年1月24日)	9,194			60	129	1.4	1.4	96.1	—	12.4
30期(2019年4月24日)	9,309			60	175	1.9	1.6	97.5	—	12.0
31期(2019年7月24日)	9,518			60	269	2.9	1.9	97.1	—	11.5
32期(2019年10月24日)	9,540			60	82	0.9	1.9	98.7	—	11.0
33期(2020年1月24日)	9,565			60	85	0.9	2.0	99.0	—	10.6
34期(2020年4月24日)	8,992			60	△513	△5.4	1.3	96.0	—	10.0
35期(2020年7月27日)	9,607			60	675	7.5	2.1	96.0	—	9.8
36期(2020年10月26日)	9,668			60	121	1.3	2.1	95.4	—	9.1

* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第35期	(期 首) 2020年4月24日	円 8,992	% —	% —	% 96.0	% —
	4月末	9,012	0.2	—	95.3	—
	5月末	9,377	4.3	—	96.8	—
	6月末	9,468	5.3	—	98.2	—
	(期 末) 2020年7月27日	9,667	7.5	—	96.0	—
第36期	(期 首) 2020年7月27日	9,607	—	—	96.0	—
	7月末	9,662	0.6	—	95.2	—
	8月末	9,677	0.7	—	95.4	—
	9月末	9,630	0.2	—	95.6	—
	(期 末) 2020年10月26日	9,728	1.3	—	95.4	—

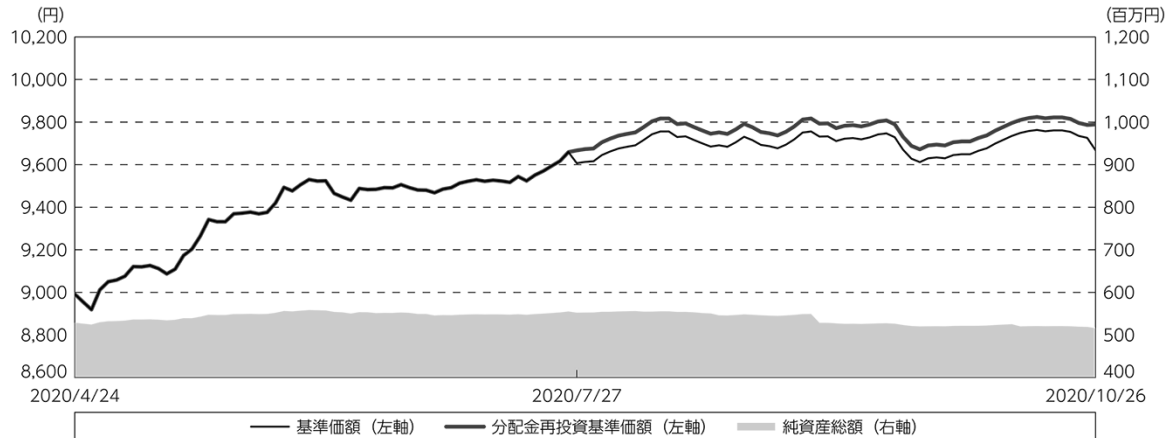
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第35期首：8,992円

第36期末：9,668円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：8.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年4月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、8.9%の上昇(分配金を決算日に再投資したと仮定して計算。)

基準価額は、第35期期首の8,992円から第36期期末9,668円(分配後)となりました。第35期および第36期に分配金をそれぞれ60円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は796円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(上昇) 保有していた債券の値上がり(キャピタルゲイン)。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○投資環境

当作成期を通じて、米国10年債金利は上昇しました。

米国における新型コロナウイルス感染の拡大ペースが再び加速し、景気の先行きに対する懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。その後、新型コロナウイルスのワクチン実用化期待の高まりや、FOMC（米連邦公開市場委員会）の議事録でイールドカーブコントロールの導入に慎重な姿勢であることが確認され、追加緩和期待が後退したことなどから、金利は上昇し、当作成期を通しての金利は上昇となりました。

投資国における米ドル建て国債市場全体の対米国債スプレッド（利回り格差）は縮小しました。

先進国の拡張的な財政政策や緩和的な金融政策への期待を背景に、リスク性資産の価格が堅調に推移しました。市場のリスク選好度合いが高まる中で、米ドル建てエマージング国債の対米国債スプレッドは縮小しました。このような環境下、南アフリカの対米国債スプレッドは縮小しました。

メキシコでは、原油価格が堅調に推移する中で、原油収入を歳入源としている同国のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の改善が期待されました。このような環境下、メキシコの対米国債スプレッドは縮小しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1110]

作成期を通じて [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

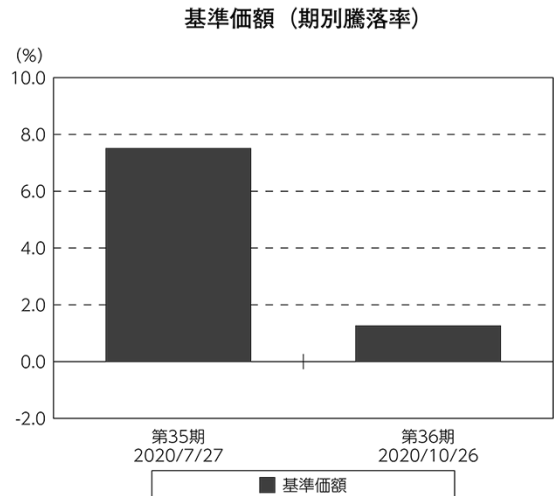
[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から当作成期末において、ブラジル、インドネシア、中国、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行ないました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

	第35期	第36期
1口当たり分配金（税込み）	60円	60円

◎今後の運用方針

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1110]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2020年4月25日～2020年10月26日)

項 目	第35期～第36期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 55	% 0.585	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(21)	(0.223)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(32)	(0.335)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	56	0.591	
作成期間の平均基準価額は、9,471円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

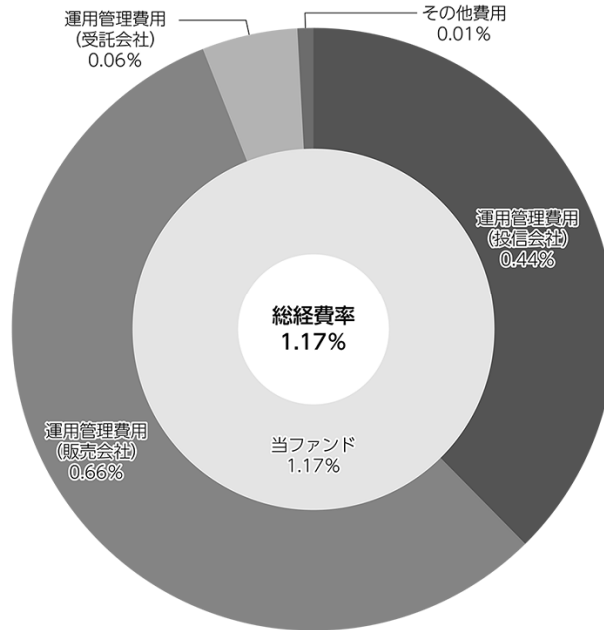
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月25日～2020年10月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第35期～第36期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	千口 150	千円 200	千口 47,215	千円 62,600

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月25日～2020年10月26日)

利害関係人との取引状況

<野村エマージング・ソブリン 円投資型1110>
該当事項はございません。

<野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド>

区 分	第35期～第36期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 50,182	百万円 318	% 0.6	百万円 50,826	百万円 —	% —
為替直物取引	—	—	—	1,688	466	27.6

平均保有割合 2.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年10月26日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第34期末	第36期末	
		口 数	口 数	評 価 額
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	千口 430,552	千口 383,487	千円 514,640

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年10月26日現在)

項 目	第36期末	
	評 価 額	比 率
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千円 514,640	% 98.9
コール・ローン等、その他	5,788	1.1
投資信託財産総額	520,428	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンドにおいて、第36期末における外貨建て純資産（24,170,866千円）の投資信託財産総額（24,898,488千円）に対する比率は97.1%です。

*外貨建て資産は、第36期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.70円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第35期末	第36期末
	2020年7月27日現在	2020年10月26日現在
	円	円
(A) 資産	557,207,138	520,428,614
コール・ローン等	6,149,948	5,788,387
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	551,057,190	514,640,227
(B) 負債	5,048,136	4,692,514
未払収益分配金	3,448,320	3,200,580
未払信託報酬	1,596,758	1,489,030
未払利息	5	3
その他未払費用	3,053	2,901
(C) 純資産総額(A-B)	552,159,002	515,736,100
元本	574,720,000	533,430,000
次期繰越損益金	△ 22,560,998	△ 17,693,900
(D) 受益権総口数	57,472口	53,343口
1口当たり基準価額(C/D)	9,607円	9,668円

(注) 設定年月日2011年10月26日、設定元本額は5,821,960,000円、第35期首元本額は587,870,000円、当作成期末における元本残存率は9.1%、1口当たり純資産額は、第35期9,607円、第36期9,668円です。

○損益の状況

項 目	第35期	第36期
	2020年4月25日～ 2020年7月27日	2020年7月28日～ 2020年10月26日
(A) 配当等収益	△ 173	△ 124
支払利息	△ 173	△ 124
(B) 有価証券売買損益	3,946,810	11,369,542
売買益	3,947,424	11,369,593
売買損	△ 614	△ 51
(C) 有価証券評価差損益	37,097,477	△ 2,886,505
(D) 信託報酬等	△ 1,621,080	△ 1,541,584
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	39,423,034	6,941,329
(F) 前期繰越損益金	△59,278,557	△22,560,998
(G) 解約差損益金	742,845	1,126,349
(H) 計(E+F+G)	△19,112,678	△14,493,320
(I) 収益分配金	△ 3,448,320	△ 3,200,580
次期繰越損益金(H+I)	△22,560,998	△17,693,900

* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

	第35期	第36期
1口当たり分配金(税込み)	60円	60円

○お知らせ

該当事項はございません。

野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日2020年10月26日）

作成対象期間（2019年10月25日～2020年10月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	落中率			
5期(2016年10月24日)	円 12,303		% 6.5	% 98.7	% —	百万円 50,939
6期(2017年10月24日)	12,510		1.7	98.9	—	40,402
7期(2018年10月24日)	11,761		△6.0	98.7	—	31,103
8期(2019年10月24日)	12,761		8.5	98.9	—	28,459
9期(2020年10月26日)	13,420		5.2	95.6	—	24,863

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

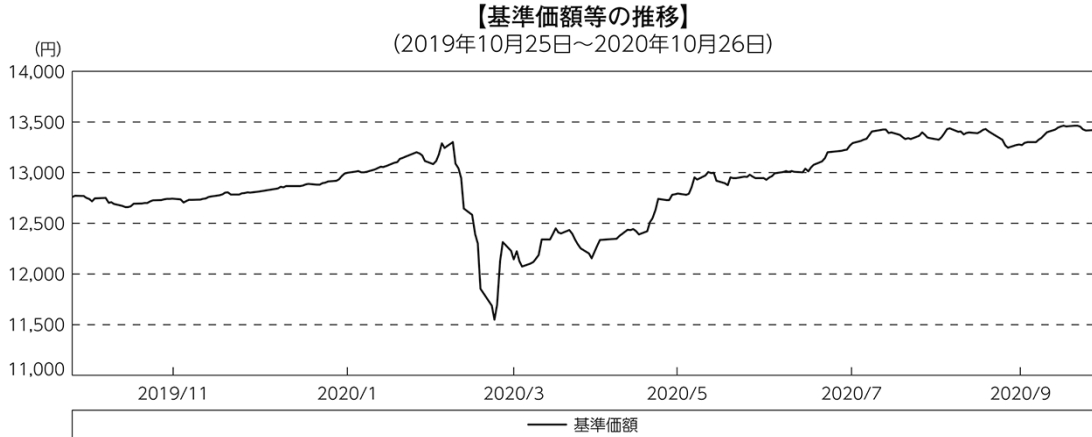
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2019年10月24日	円 12,761		% —	% 98.9	% —	% —
10月末	12,718		△0.3	99.5	—	—
11月末	12,743		△0.1	98.9	—	—
12月末	12,812		0.4	98.6	—	—
2020年1月末	12,999		1.9	98.1	—	—
2月末	13,114		2.8	98.4	—	—
3月末	12,146		△4.8	96.1	—	—
4月末	12,282		△3.8	95.5	—	—
5月末	12,793		0.3	97.0	—	—
6月末	12,930		1.3	98.4	—	—
7月末	13,292		4.2	95.4	—	—
8月末	13,326		4.4	95.6	—	—
9月末	13,273		4.0	95.8	—	—
(期末) 2020年10月26日	13,420		5.2	95.6	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、5.2%の上昇

基準価額は、期首12,761円から期末13,420円となりました。基準価額の上昇額は659円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

(上昇) 保有していた債券の値上がり（キャピタルゲイン）。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト

○当ファンドのポートフォリオ

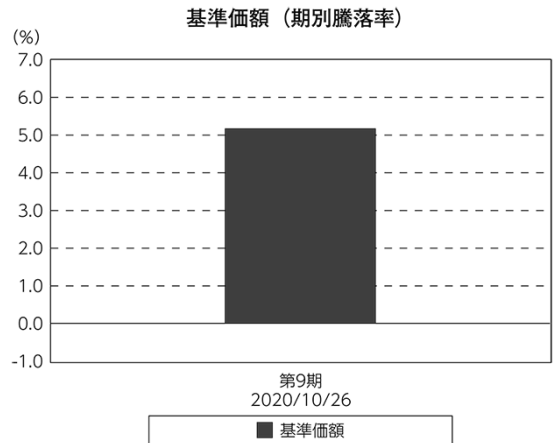
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から2019年10月までは、ブラジル、インドネシア、ポーランド、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行いました。2019年11月中にポーランドから中国への投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、中国、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2019年10月25日～2020年10月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	1	0.009	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	(0)	(0.000)	
期中の平均基準価額は、12,869円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年10月25日～2020年10月26日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	—	58,755
		特殊債券	—	1,261
		社債券（投資法人債券を含む）	33,199	10,286

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月25日～2020年10月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			B A			D C
為替先物取引	百万円 107,070	百万円 958	% 0.9	百万円 103,107	百万円 —	% —
為替直物取引	—	—	—	5,139	466	9.1

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年10月26日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	201,100	226,995	23,766,395	95.6	23.9	70.0	25.5	—
合 計	201,100	226,995	23,766,395	95.6	23.9	70.0	25.5	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	COLOMBIA GLOBAL	8.125	22,800	27,728	2,903,132	2024/5/21	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.25	5,000	5,440	569,607	2025/1/7	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.5	20,000	21,595	2,261,006	2029/5/30	
	HUNGARY	5.375	2,000	2,211	231,515	2023/2/21	
	HUNGARY	5.375	22,000	25,294	2,648,380	2024/3/25	
	PHILIPPINES GLOBAL	3.0	20,700	22,837	2,391,089	2028/2/1	
	PHILIPPINES GLOBAL	7.75	3,600	5,479	573,748	2031/1/14	
	REPUBLIC OF INDONESIA	3.4	13,000	14,310	1,498,278	2029/9/18	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	5.875	28,000	29,657	3,105,109	2030/6/22	
	UNITED MEXICAN STATES	3.75	14,000	15,210	1,592,555	2028/1/11	
UNITED MEXICAN STATES	4.5	13,000	14,766	1,546,053	2029/4/22		
普通社債券 (含む投資法人債券)	PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	4.125	2,500	2,740	286,893	2027/5/15	
	PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	5.45	10,000	11,798	1,235,297	2028/5/21	
	SINOPEC GRP OVERSEA 2018	4.25	14,000	16,217	1,697,930	2028/9/12	
	STATE GRID OVERSEAS INV	3.5	10,500	11,707	1,225,797	2027/5/4	
合 計					23,766,395		

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年10月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 23,766,395	% 95.5
コール・ローン等、その他	1,132,093	4.5
投資信託財産総額	24,898,488	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（24,170,866千円）の投資信託財産総額（24,898,488千円）に対する比率は97.1%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.70円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年10月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	48,595,104,879
コール・ローン等	476,254,945
公社債(評価額)	23,766,395,545
未収入金	24,050,502,381
未収利息	301,952,008
(B) 負債	23,731,116,197
未払金	23,696,616,000
未払解約金	34,500,000
未払利息	197
(C) 純資産総額(A-B)	24,863,988,682
元本	18,527,995,832
次期繰越損益金	6,335,992,850
(D) 受益権総口数	18,527,995,832口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,420円

(注) 期首元本額は22,302,703,817円、期中追加設定元本額は8,104,477円、期中一部解約元本額は3,782,812,462円、1口当たり純資産額は1.3420円です。

○損益の状況 (2019年10月25日～2020年10月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,114,262,621
受取利息	1,114,425,916
支払利息	△ 163,295
(B) 有価証券売買損益	168,912,983
売買益	2,381,931,747
売買損	△2,213,018,764
(C) 保管費用等	△ 2,483,341
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,280,692,263
(E) 前期繰越損益金	6,157,092,602
(F) 追加信託差損益金	2,295,523
(G) 解約差損益金	△1,104,087,538
(H) 計(D+E+F+G)	6,335,992,850
次期繰越損益金(H)	6,335,992,850

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	円
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	4,924,175,527
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	4,505,950,536
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	3,237,920,424
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	2,945,878,780
野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	1,533,079,540
野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	383,487,502
野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	312,489,398
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	273,883,663
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	225,150,058
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	120,840,719
野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	65,139,685

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2020年10月26日現在)

年 月	日
2020年10月	-
11月	11、26
12月	25、28

※2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。